

塗料カスが自然発火

事例 NO.101



火災の概要

枚方市内にある体育館のフロアにおいて、**塗料カス**から出火し、室内が焼損した火災が発生しました。

← フロア焼損状況

原因概要

体育館のフロアをポリッシャーで研磨した研磨粉を掃除機で集めた後、ゴミ袋に入れ保管していました。暫くするとゴミ袋付近から炎が立ち上がり火災が発生しました。

何故

- ① 塗料は塗装後、数日、数週間たっても硬化(酸化反応)を続けることがあります。
- ② 塗膜が研磨粉になった後も酸化反応により発熱し、それが一か所に密集して熱がこもった結果、発火しました。

一般家庭でも**自然発火**はする！

- ① 床用ワックスや塗料など付着した大量の布類や紙類を何日も放置した場合、自然発火に至る可能性があります。
- ② 油などの付着した衣類は洗濯後でも乾燥機に入れると発火する可能性があります。
- ③ 天ぷらを揚げた際に出た天かすを山積みになると発火する可能性があります。

対策は

- ① 油分が付着した布類は洗濯後でも乾燥機で加熱しない。
- ② 油分が付着した布類や紙類を水に浸さずに袋や容器などに入れて放置しない。
- ③ 購入後「高温注意」「火気厳禁」などの注意書きやラベル表示内容をよく確認する。

枚方寝屋川消防組合 警防部 警防課 指揮支援・調査隊